

七ころび 八起き

第7号
平成25年
冬号



Higashikakogawa Hospital

医療法人達磨会 東加古川病院

<http://www.tatsumakai.jp>

理念

- 1) 精神医療に携わることによる自覚と誇りを持ち、全力を尽くす。
- 2) 患者様、ご家族を含めた地域の人々の満足と信頼が得られるような病院づくりを目指す。
- 3) 地域精神医療に貢献するために、精神保健活動、啓蒙活動、対外活動を積極的に行う。
- 4) 安全な医療と安心できる環境を提供するために継続的な改善を重ねる。
- 5) 患者様の権利を尊重する。
- 6) 安定した経営基盤を維持する。

作品紹介

テイクア参加者の作品



左：力作揃いの“書初め” 右上：ちぎり絵

今年もよろしく
お願いします



新年のご挨拶



院長 森 隆志

あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

去年の6月で当院は75周年をむかえることができました。しかし、これからの精神科医療を考えますと呑気に76周年、77周年と年を重ねてゆけるような楽観的な物の見方は困難かとも思われます。本来の精神科疾患を抱えた人達の絶対数の減少、認知症を抱えた人達、身体的合併症を抱えた人達の増加、急性期治療、救急対応への力点のシフトなど現在の精神科医療に押し寄せてくる諸問題への対処を間違えれば75年はもっても100年はもたないと思われます。

100年保つ、又更に200年保つ病院たらんとするには多角的な物の見方にしっかりと腰を据えて対応していかなければなりません。勿論その覚悟で今居るわけです。

しかし、こういう急場の中で次々と迫りくる諸問題に対処する中で、精神科治療の原点を見失ってしまうことがないように心せねばならないと考えています。

精神科医療は「統合失調症」を診るのではありません。「統合失調症にかかった人」を診るのです。時代の流れに乗ることに窮々として、「疾患にかかった人」を見失ってしまうようになれば、それは100年保とうが200年保とうが、真に役に立つ精神科病院とは成り得ません。原点を見失わず、しかも時代の流れをしっかりと乗り切って100年、いや200年もつ病院を目指していきたいと切に願っている次第です。皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。



院内トピックス 11月・12月



クリスマスコンサート 12月19日

12月19日生活訓練センターにて、全病棟の患者様を対象に午前と午後に分けて『クリスマス会』を開催しました。大きなツリーとクリスマスソングを聴きながら、ケーキと紅茶を「美味しいね」と言いながら食べられていました。また、この日の為に練習を重ねた「夕映え楽団」による楽器演奏、ハンドベル等の優しい音色、「カナリア合唱団」の歌声にクリスマスの雰囲気もいっそう盛り上がりました。また、サプライズで医師による楽器演奏、ビンゴゲームと大盛況で終わることが出来ました。



菊花展鑑賞～明石公園～ 11月19日

11月19日に病棟のバスレクの一環として、明石公園菊花展に患者様12名と職員とで秋の紅葉鑑賞も兼ね行って参りました。色とりどりの菊の花や動物の形で作成された菊のオブジェを楽しみながら患者様より質問もあつたり豊かな表情を見ることが出来ました。その後、明石公園内を散策しティータイムを楽しみ帰路につきました。五感で秋を感じ表情にも変化が現れスタッフも患者様と同じ空間を共有することが出来、患者様共々充実した時間を過ごすことが出来ました。

今後も四季の変化に応じたイベントも考慮しながら患者様が感情表現出来る場に繋がればと思っています。



口腔ケア研修会 12月22日



12月22日、NST準備委員会において「口腔ケア研修会」を開催しました。歯科衛生士さんに高価な口腔ケア用ブラシでなく、市販歯ブラシと口腔ケア用ウェットティッシュを用いた方法で実技を見せて頂きました。又、歯茎部マッサージによる唾液分泌増加→

唾液による自己免疫力アップを目的としたケアが重要とのこと。

熱心な質疑応答で時間が延びてしまうほどの充実した研修になりました。



勤続30年!

東加古川病院は、昨年 創立 75 周年を迎えました。そして今回、勤続 30 年という職員が新たに 3 名できました。病院の歴史に負けず、同じ職場で 30 年の継続は素晴らしいことです。今後も同じように長く勤務して頂ける職員が出るよう快適な職場環境づくりをしたいと思えます。





消防訓練 12月7日

12月7日に、東加古川病院 西病棟1階・老人保健施設 緑寿苑3階にて、夜間の時間帯を想定した消防訓練を行いました。訓練内容として、消防署への通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練・水消火器による消火器訓練を行いました。達磨会として、火災に対して真剣に取り組ん



でおり、今後より一層の細やかな消防訓練を行ってまいります。



鍋パーティー 12月19日



12月19日、病棟レクにて『鍋パーティー』を開きました。沢山の職員（給食,事務,OT,PSW）のお手伝いもあり心配していた事故もなく楽しく開催することができました。

「鍋なんか10年ぶりや!」と喜ばれる患者様もいらっしゃり、皆様のあふれんばかりの笑顔で満たされた有意義な一時でした。患者様も皆さんマナーを守り素晴らしいレクができた事を感謝いたします。

大好評につき第二弾を要望するお声も多く、また計画したいと思います。



医局コラム vol.6



「予防接種のお話」 医師 大西 悠

予防接種とは、ある特定の伝染病に対して免疫力を高めるために、事前にワクチンを人体に主に注射で投入することを指します。このワクチンの正体は、伝染病の病原体を弱めたりしたもの等様々ですが、その目的は、予測される本格的な感染に対して、一種の予行演習を行うことで、体を慣れさせ防備を整えておこうとするものです。

予防接種という概念が生まれる近代医学の以前から、病原体に部分的に触れておいたほうが感染を防げるという事実は経験的に知られていました。かつて欧州全域に覇を唱えたかの有名なハプスブルク家では、天然痘患者からとった膿を食べることで、その感染を防いだというエピソードが知られています。

予防接種はあくまで演習であって、必ずかからないというものではありません。油断は禁物ですので、普段から気をつけることが大切です。





取 り 組 み



☆生活訓練センターの新しい取り組み☆

生活訓練センター小委員会がはじまり、OT活動との連携が話し合われています。生活訓練センター利用が予約制になり、看護部、薬局、給食、地域医療連携室、心理室等がチームで連携したプログラムも続々と始まっています。

今後は生活訓練センター内での買物訓練やボランティアの協力を得た幅広い活動も始まる予定です。

※生活訓練や活動のためのボランティア募集中です。(例：書道・ヨガ・折り紙 など)



☆おせち料理の由来☆

おせち[お節供(おせちく)の略]料理は、「めでたさを重ねる」という意味があり、縁起をかつぐために重箱に詰めます。関西の祝い肴は、「田作り」「数の子」「たたき牛蒡」です。

当院では、「黒豆」「数の子」「豚角煮」を祝い肴にしてみました。

お正月気分を味わって頂けたようです。



* 外来変更のお知らせ *

H25.1.4 より外来診察医師の変更がありますので、下記にてご確認ください。

* 受付時間は月曜日から土曜日の8時30分～11時30分です。



外来診察のご案内

平成 25 年 1 月 現在

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	森院長	森院長	森院長	森院長	高内	森院長
	玉田	大村	高内	太田	木村	玉田
	藤田	木村	谷川	前田	藤田	大西
午後		太田	玉田	新倉(薬診)	大西	
			森院長 〈物忘れ外来〉	堀野 〈思春期外来〉		

広報誌 (PDF) はホームページからも閲覧・印刷可能です。



編集後記

お正月はどのように過ごされたのでしょうか。元旦から営業する店が増え、便利な世の中になったものです。世の中も病院もどんどん変化しています。本誌を通し、少しでも東加古川病院の変化を知って頂ければ幸いです。本年もよろしく願いいたします。 広報担当：浮田・高濱・福原

医療法人達磨会 東加古川病院

〒675-0101 加古川市平岡町新在家 1197-3

TEL : 079-424-2983 (代表)

FAX : 079-424-2985

HP : <http://www.tatsumakai.jp>

当院では 2004 年に ISO9001 を取得しています



QJ01045/ISO9001:2008



- ① 公共交通機関でのご来院
JR 東加古川駅下車 北口より徒歩 10 分
- ② お車でのご来院
加古川バイパス 加古川東ランプ下車(山側すぐ)